

子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業 (地域の自然環境や教育資源を活用した事業) (学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ)

徳島県教育委員会

【事業のポイント】

- 地域の自然環境や教育資源を活用した事業
青少年の自然体験活動等に関する情報収集・発信・環境を生かした体験活動等の開発、試行事業などを実施する。
- 学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ
地域住民の参画を得て、学校等を避難所とした生活体験や体験的な防災教育プログラムを実施する防災キャンプを1か所以上実施する。



1. 企画

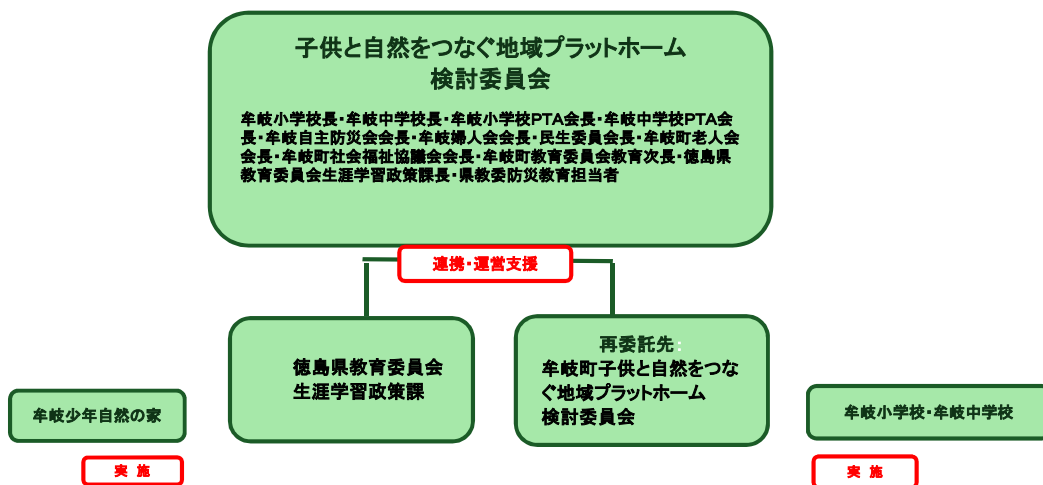
(1) 事業実施の背景

青少年の体験活動の推進を図るために、地域の様々な関係者が協力し、地域の教育資源を活用した持続的な取組を活性化させていくことが重要である。そのためには、「地域」を基礎として、家庭、学校、青少年関係団体、NPO等をネットワーク化し、相互の情報交換や情報供給、事業の共同実施等を円滑化するための「地域プラットフォーム」が必要であることから、本事業ではその形成を支援する。

徳島県南部に位置する牟岐町は、沖合を黒潮が流れる太平洋に面し、亜熱帯植物が繁茂する3つの島が浮かぶ自然に恵まれた地域である。その一つ、出羽島には世界で4ヶ所しかない生きた化石「シラタマモ」の自生地があるほか、大島の内湾には高さ9メートル、推定年齢1750年の世界屈指の巨大珊瑚が今も静かに成長を続けていることで有名である。一方、牟岐町は昭和21年の昭和南海地震では甚大な津波被害を受けており、地域住民の防災意識も高いものの、予想される南海トラフの巨大地震では、津波高9m、津波到着時間は第一波7分、最大波30分と想定されており、発災後の迅速な対応が求められている地域でもある。このことから、当事業では、豊かな自然と災害という相反した牟岐町の地域特性を活かした教育活動プログラムとして、自然体験活動の開発と試行及び防災キャンプを実施することとする。事業スキームとしては、「古牟岐地区」を中心とした家庭、学校、関係団体等による検討会を立ち上げ、牟岐町の自然環境を活かした自然体験活動プログラムを企画し、実施するほか、学校を避難所とした防災・減災に向けた避難所運営や、模擬避難所訓練等を実施することで、相互の情報収集や情報共有、事業の共同実施を円滑化するためのネットワークづくりを目指す。

2. 実施概要

(1) 実施主体



(2)開催実績	
月 日	内 容
9月18日	子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム第1回検討委員会
10月3日, 4日	牟岐町しおさいキャンプ第1回
10月8日	子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム第2回検討委員会
10月16日, 17日	牟岐町防災キャンプ
10月31日, 11月1日	牟岐町しおさいキャンプ第2回
2月19日	子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム第3回検討委員会

(3)意見交換の場の設定



第1回検討会



第2回検討会



第3回検討会

3. 成果と課題

(1)事業成果

別添資料参照(アンケート等)

(2)事業運営上の課題

・過疎化・少子化が進む地域における行政, 学校, 家庭, 地域の各種団体の互いの相互協力が, これまで以上に必要である。

(3)事業成果の普及啓発の課題

・地域のそれぞれ得意分野を持つメンバーや団体等をつなぐ, 持続可能な地域のネットワーク作りを進めるコーディネーターの育成。

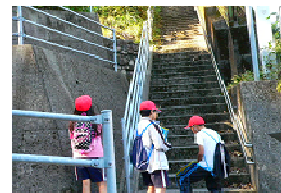
4. 団体プロフィール

徳島県教育委員会生涯学習政策課
〒 770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
電話番号 088-621-3148
ファクシミリ 088-621-2884

野外炊飯



フィールドワーク



事業成果報告書

項目	「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業」第1回牟岐しおさいキャンプ
主催	徳島県教育委員会生涯学習政策課
日時	平成27年10月3日(土) 13:00~22:00, 10月4日(日) 6:00~12:30
場所	海部郡牟岐町大字灘字東谷116-35 牟岐少年自然の家
参加者	生涯学習政策課 西野統括, 横田統括, 青山主事, 美馬和彦

報告

1 参加者

子供 男5 女8

保護者 男7 女5

講師 張野晴伸さん 手話通訳士 今村達子さん

西野統括 横田統括 青山主事 美馬主事

2 日程

10月3日(土)	13:00~	牟岐少年自然の家集合・受付
	13:30~	入所式, オリエンテーション等
	14:00~	釣り体験
	16:00~	夕食(野外炊飯)親子でカレーづくり
	19:00~	天体観測(講師 張野 晴伸先生)
	20:00~	入浴
	21:30~	就寝準備
10月4日(日)	22:00	消灯
	7:10~	朝食(朝食後, 退所準備, 活動準備)
	8:45~	集合・出発
	9:00	古牟岐漁港出発
		大島で船上よりサンゴ観察
	9:50	出羽島漁港到着
		出羽島散策(牟岐町観光ガイド会の皆様)
	11:00	出羽島漁港出発
	11:30	古牟岐漁港到着
	11:40	牟岐少年自然の家到着
11:50~	退所式・アンケート記入	
12:30	解散	

「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業」

第1回 牟岐しおさいキャンプ10月3日(土), 4日(日)アンケート結果

質問1 お子様の学年と性別をお教えてください。

1年 男2人 女2人 2年 女1人 3年 男2人 女1人
4年 男1人 女2人 5年 女2人
合計 13人(男5人 女8人)

質問2 あなたのお住まいはどちらですか。

徳島市(5) 小松島市(2) 阿南市(1) 阿波市(1) 美馬市(3)

質問3 今までに、このような体験活動に参加したことがありますか。

どちらかに○で囲んでください。

ある(3) ない(9)

あるに○をされた方は、どんな活動でしたか記入してください。

- ・釣り, シュノーケリング, 磯遊び, 貝拾い
- ・上勝町のエコ活動
- ・父親カルネッサンス

質問4 今回のキャンプはどのようにして知りましたか。

学校の配布物(9) 県ホームページ(2) 知人から(1)

質問5 このような体験活動はどのような方法で発信されると、受け取りやすいですか。

次の中の番号に○を付けてください。(複数回答可)

1 ポスターやチラシ(4) 2 学校からの配布物(11)
3 ホームページ(6) 4 新聞掲載(2) 5 その他()
その他についてありましたら、記入ください。
(特になし)

質問6 体験活動に参加するとしたら都合の良い時期はいつ頃ですか。(複数回答可)

夏休み(2) 秋(6) 春(2) 晩秋から冬(1) 5月から6月(1)
休日ならいつでも(1)

質問7 この活動に参加申込みされたのはどのような理由、目的からですか。

- ・子供とのコミュニケーション
- ・子供に体験をさせてみたかったので
- ・自然と遊ぶ
- ・家族の絆を深める
- ・子供達に自然とふれ合わせたかった
- ・たくさんの星を見せたかった
- ・家族の希望から
- ・子3人でキャンプに行きたかったが、初めてなので参加型の企画で体験させてもらいたかった
- ・子供に普段ではできない体験をさせたかった
- ・独自でキャンプを計画・実行するのは大変と考えていたが、県が主催で参加型であったため気軽に申し込みました。
- ・牟岐大島, 出羽島に行かせたかった
- ・子供が参加したいと言ったので
- ・子供に海の体験をさせたかったからです。
- ・なかなか県内でも南へ行けないから。

質問 8 活動に参加して良かったと思うことはどんなことですか。

- ・子供と一緒に何かすること
- ・子供が参加して良かったと喜んでしたこと。
- ・他の家族の子供さんと自分の子供が仲良くなり共に遊んでいたこと。
- ・釣りで魚が釣れて子供が喜んでしたこと。
- ・自分たちでいろいろな体験ができたこと。
- ・団体行動の体験
- ・子供の成長を見ることができた。
- ・普段体験できないクルージング，出羽島の歴史に触れることができた。
- ・日常では体験できない船に乗ったりできたのが良かった。
- ・限られた時間(短時間)で釣り，炊事，星観察等たくさんの項目を体験できたのが良かった。
- ・カレー作り，天体観測，島巡り，なかなか普段体験できないこと。
- ・初めての体験が多く楽しめました。
- ・普段できない船に乗ることができ，大変喜んでいきます。
- ・釣り体験，大島・出羽島，カレー作り

質問 9 子供たちに行わせたい自然体験，野外活動は何ですか。

- ・何かを作る。普段しないことをする。例 火おこし等。
- ・テント設営，バーベキュー。
- ・バーベキュー，シュノーケリング，カヌー，磯遊び。
- ・キャンプ，カヤック。
- ・海で泳ぐ
- ・キャンプファイヤー，火おこし
- ・海，磯の生物観察
- ・バーベキュー，キャンプ
- ・海や山の魚や生き物とのふれあい
- ・釣り体験

質問 10 活動内容，運営方法，お気づきの点がありましたら御記入ください。

- ・割とプログラムがゆっくりしていてちょうど良かった。
- ・短時間で満足できた時間で良かったです。楽しかったです。
- ・こういう機会がもっとあればいいと思います。
- ・細かく指導してくださり，至れり尽くせりでした。ありがとうございました。
- ・各先生に親切にして頂き感謝するばかりです。又の機会を楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・それぞれの時間をもう少し長くって欲しいです。
- ・今回はお世話になりました。子供も大変喜んでいきます。また，こんな機会がありましたらよろしく願います。
- ・夜，星を見るとき顔が暗くて見えなかった。通訳者の手話が見えない。

牟岐少年自然の家



入所式



釣り体験活動の説明



ライフジャケット着用



釣り体験



釣り体験



野外炊飯



野外炊飯



野外炊飯



天体観測



天体観測



天体観測



朝食



海岸を通り港へ



大島



出羽島案内ガイドさんの説明



大八車



港の散策



明治時代に作られた石積み堤防



退所式



退所式



事業成果報告書

項目	「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業」第2回牟岐しおさいキャンプ
主催	徳島県教育委員会生涯学習政策課
日時	平成27年10月31日(土) 13:00~22:00, 11月1日(日) 6:00~12:30
場所	海部郡牟岐町大字灘字東谷116-35 牟岐少年自然の家
参加者	生涯学習政策課 森副課長, 横田統括, 美馬和彦

報告

1 参加者

子供 男 1 1 女 1 1
保護者 男 6 女 1 1
講師 張野晴伸さん
森副課長 横田統括 美馬主事

2 日程

10月31日(土)	13:00~	牟岐少年自然の家集合・受付
	13:30~	入所式, オリエンテーション等
	14:00~	釣り体験
	16:00~	夕食(野外炊飯)親子でカレーづくり
	19:00~	天体観測(講師 張野 晴伸先生)
	20:00~	入浴
	21:30~	就寝準備
	22:00	消灯
11月1日(日)	7:10~	朝食(朝食後, 退所準備, 活動準備)
	8:45~	集合・出発
	9:00	古牟岐漁港出発
	9:30	出羽島漁港到着
		出羽島散策(牟岐町観光ガイド会の皆様)
	11:00	出羽島漁港出発
	11:20	古牟岐漁港到着
	11:30	牟岐少年自然の家到着
	11:40~	退所式・アンケート記入
	12:00	解散

「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業」

第2回 牟岐しおさいキャンプ10月31日(土), 11月1日(日)アンケート結果

質問1 お子様の学年と性別をお教えてください。

1年 男1人 女3人 2年 男2人 女1人 3年 女3人
4年 男6人 女1人 5年 女2人 6年 男2人 幼稚園 1人
合計 13人(男11人 女11人)

質問2 あなたのお住まいはどちらですか。

徳島市(2) 小松島市(1) 阿南市(4) 吉野川市(1) 美馬市(3)
三好市(2) 松茂町(2)

質問3 今までに、このような体験活動に参加したことがありますか。

どちらかに○で囲んでください。

ある(1) ない(11)

あるに○をされた方は、どんな活動でしたか記入してください。

・防災キャンプ

質問4 今回のキャンプはどのようにして知りましたか。

学校の配布物(12) 県ホームページ(1) 知人から(3)

質問5 このような体験活動はどのような方法で発信されると、受け取りやすいですか。

次の中の番号に○を付けてください。(複数回答可)

1 ポスターやチラシ(6) 2 学校からの配布物(15)

3 ホームページ(1) 4 新聞掲載(5) 5 その他()

その他についてありましたら、記入ください。

(特になし)

質問6 体験活動に参加するとしたら都合が良い時期はいつ頃ですか。(複数回答可)

夏休み(5) 秋(3) 春(2) 晴から秋(3) 5月から6月(2)

冬休み(1) いつでも(1) 運動会シーズン以外(1)

質問7 この活動に参加申込みされたのはどのような理由、目的からですか。

- ・5年生の宿泊学習の前に体験しておくと思ったから。
- ・活動内容が楽しそうだったから。
- ・個人ではなかなか体験させてやれないことばかりだったから。
- ・釣り体験や、クルージングが安く参加できるから。
- ・安いお金でいろんな体験ができるから。
- ・普段できない体験を子供にさせたいから。
- ・子供がキャンプなどに興味があり好きだから。
- ・家族での思い出作りに楽しそうだったので。
- ・子供とのふれあい体験。
- ・子供の希望
- ・子供が参加したいと言ったから。
- ・様々な体験活動がコンパクトに入っていて魅力的だから。
- ・子供の体験のため。
- ・子供達に自然の中での体験をさせたいから。
- ・親子で参加できて楽しそうだから。
- ・楽しそうなメニューだったから。

質問 8 活動に参加して良かったと思うことはどんなことですか。

- ・初めて釣りをしたり飯ごうでご飯を炊いたり子供にとっていい体験ができたこと。
- ・班で協力し皆で助け合ってやり遂げる達成感が味わえた。
- ・天体観測で星座、星のことについて詳しく知ることができた。
- ・二段ベッド
- ・子供達に初めての体験をさせることができたこと。
- ・新しい友達がたくさんできたこと。
- ・釣りやクルージングなどいろいろな体験ができたこと。
- ・野外で自然の中、カレーを作ったり、星を見たり、出羽島に行ったり全ていい体験になりました。
- ・全て良かったと思います。
- ・島巡りなど
- ・自然にふれあえたこと。
- ・釣りや船に乗れたこと。
- ・子供達が自分のことを率先してするようになったこと。
- ・班活動を通じての共同作業、同世代の子供達と接して2日だけだが楽しく遊ぶことができた。
- ・自然にふれあえたこと。
- ・初めて会った人たちと協力して活動できたこと。
- ・野外でご飯を作り食べたこと。
- ・規則正しい生活。
- ・普段できない活動で良い体験になりました。

質問 9 子供たちに行わせたい自然体験、野外活動は何ですか。

- ・磯遊び
- ・カヌー
- ・夏のアクティビティ
- ・クルージング
- ・体を思いっきり使った遊び
- ・キャンプ
- ・釣り
- ・物作り
- ・海での自然体験(シュノーケル、カヌー)
- ・火おこし体験
- ・ツリーハウス作り
- ・自然観察
- ・キャンプ
- ・今回のような体験
- ・キャンプファイヤー
- ・今回の体験を通じて釣りに興味を持たったようで、今後もやりたいようだ
- ・海の活動や森での活動
- ・自然の素晴らしさや怖さを知る

質問 10 活動内容、運営方法、お気づきの点がありましたら御記入ください。

- ・とても楽しく参加できました。
- ・低料金でとても内容のある活動ができ、大変良い体験ができました。スタッフのみなさんありがとうございました。
- ・至れり尽くせりで大変よくして頂きありがとうございました。

- ・盛りだくさんの内容で、いい体験ができました。充実した2日間でした。楽しかったです。スタッフの皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・カレー作り作りの時間がもう少しあれば、子供にゆっくり野菜を切ったり楽しみながら料理ができたと思います。せつかくこういう所に来たのだから、「早く早く」とせかしながらの活動は少し残念なように思います。
- ・参加費の負担も少なく、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

10月31日(日)
開所式



施設の説明



釣り体験



釣り体験



野外炊飯



野外炊飯



11月1日(日)
朝食



ライフジャケットの着用



出羽島案内ガイドの皆さん



国の天然記念物オオナマズ



旧出羽島小・中学校跡



出羽島散策



シラタマモ



帰りの浜辺



退所式



事業成果報告書

項 目	子供と自然をつなぐ地域プラットフォームフオーム形成支援事業 牟岐町防災キャンプ
主 催	牟岐町, 牟岐町教育委員会
日 時	平成27年10月16日(金)13:45~22:00 17日(土)6:00~14:00
場 所	牟岐町民体育館, 牟岐小学校, 牟岐中学校 他
参加者	生涯学習政策課 美馬和彦
16日(金)参加スペシャリスト 新濱定夫, 岩寄司朗, 武市義雄, 廣田摩利子, 錦野順子	
日程	
10月16日(金)	
牟岐町民体育館集合 13:45~	
開会式・オリエンテーション 13:50~	
・主催者あいさつ	
・県教委あいさつ	
・学校代表あいさつ	
・生徒代表あいさつ	
・講師・支援者紹介	
・日程・活動等説明	
活動1 備蓄飲料・雑用水設備体験(駐車場) 14:20~	
活動2 (小1階多目的教室へ移動) 15:00~	
テレビ会議(女川小4・5・6年児童と牟岐小5・6年児童の交流)	
活動3 防災学習 女川小 阿部校長・高清水教諭講話(町民体育館) 15:50~	
活動4 避難所設営(牟岐中3階) 17:30~	
防災スペシャリスト5名も加わる	
活動5 夕食 非常食等(牟岐小多目的ホール) 19:00~	
活動6 話し合い活動 19:45~	
防災スペシャリスト5名も加わる	
・就寝準備 20:45~	
・就寝 22:00	
10月17日(土)	
・起床 6:00~ 避難所の片付け	
・朝食 非常食 7:00	
活動7 フィールドワークと津波体験談 東地区と西地区に分かれる 7:45	
・フィールドワークのまとめ(牟岐小多目的ホール)	
活動8 野外炊飯(牟岐小裏庭) 10:15	
活動9 防災キャンプのまとめ 11:45	
各班発表(牟岐小多目的ホール) 12:30	
閉会式(牟岐小多目的ホール) 13:30	
・主催者あいさつ	
・学校代表あいさつ	
・児童代表お礼のことば	
片付け・解散 13:45	

10月16日(金)

開会式



活動①備蓄飲料水・雑用水を活用した非常事体験



活動②牟岐小・女川小テレビ活動
会議交流



③防災学習 東日本震災
の体験講話



活動④避難所設営



活動⑤夕食 非常食の調理・
実食の準備



活動⑥話し合い活動



班別避難所説明



10月17日(土)
避難所撤収



朝食



活動⑦フィールドワーク



活動⑦フィールドワーク
避難所登り口



活動⑦フィールドワーク
牟岐町南海震災史碑



フィールドワークまとめ



活動⑧野外炊飯



活動⑧野外炊飯



活動⑨防災キャンプまとめ



各班発表



女川小阿部校長先生のお話



閉会式



項 目	子供と自然をつなぐ地域プラットフォームフオーム形成支援事業 第3回検討会
主 催	牟岐町教育委員会
日 時	平成28年2月19日(金) 19:00~20:20
場 所	牟岐町海の総合文化センター
参加者	生涯学習政策課 美馬和彦
<p>報告 出席者(13)名 日程</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ 2 徳島県・町教育委員会・各学校からの事業報告(成果・課題等) 3 出席委員による意見交換 4 次年度以降の取り組みについて 5 その他 <p>意見交換のなかでの主な意見</p> <p>学校関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演については、あらかじめ質問事項を考えておく。 ・ 事前学習が、去年は小・中で3回できたが、今年は小・中の事前打合せが十分はとれなかった。 ・ 事前に、もう少し防災スペシャリストさんに事前に連絡を取ってもよかった。 ・ 行事の関係もあり、次年度する時は1週間後ろにしてはどうか。 ・ 参加した子供たちは、今回参加できなかった子供たちにも報告した。 ・ 自分たちに出来ること、日常生活のなかで協力することの大切さを知った。 ・ 地域の方々とながらつながっていくこと、普段からのつながりのために挨拶をしたり、町の行事への参加も家族に呼びかけていきたい。 ・ 本当に起きた時に活かせるようにしたい。自分たちは体験できてよかった。学年の下の子にもこれからも参加してほしい。 ・ たくさんの人の協力があって、食事ができていると改めて感じた。 <p>婦人会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生もいいが、もっと多くの子供が参加できるメニューはどうか。 ・ 婦人会として初めて参加したが、婦人会以外でも協力してもらえる人数を5人くらいは増やしたいと考えている。 <p>牟岐町自主防災会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10年以上前は、婦人会、自主防、日赤、消防で地域の住民、原則全員参加の訓練を行っていた。 <p>牟岐町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間的な配分として去年より過密だったかな。 ・ 日程の問題については、早めに相談をかけたい。 ・ 一泊二日の日程のなかで、振り返りの時間も相当な時間をとっている。 ・ 町としては、泊を伴う訓練を継続していきたいと考えています。 <p>学校関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所生活をメインにするか、フィールドワークをメインにするかなど、修正もしながらやっていってほしい。何をメインにするか、特化していく方がよいのではないか。普段の防災学習のなかでやれるものは、そこでやれば良いので。キャンプでないとできないことで良いのではないか。 	

- ・ 去年の小学生が中学生になって、リーダーシップをとっていたのを見て、すごく感動した。縦のつながりが出来て良いと思う。自主防、婦人会、事務局も入ってくださり一つの家族的なつながりができたのが良かったと思う。当然、本当の避難は他人と過ごす。今回、1時間、2時間といろいろな人と過ごす縦のつながりとても良い効果だと思った。

牟岐町

- ・ 継続していきたいと考えている。子供たちだけではなく、知的の方々のつながりを持ってもらうこと、地域の方々の避難所になることも、もっと知ってもらいたいという思いで、中学校で行った。知ると知らないでは全然違う。女川小との交流は、今年も8月に牟岐町に来てくれることになっている。
- ・ これからも小・中と協議させていただいて取組を続けていきたいと考えている。
- ・ 地域の方にも協力していただいて、地域の方、手伝いの方が参加しやすい内容にもしていきたい。次年度も継続していきたい。

